

温泉分析書【自家源泉】

第91-7号(581)

1. 申請者

住 所 岐阜県益田郡小坂町落合2383番地(※1)
氏 名 有限会社 濁河温泉 朝日荘 代表取締役 松坂 一磨
(※1)現在は市町村合併により下呂市となっています。

2. 源泉名及び湧出地

温泉地名 濁河温泉(源泉名 源泉朝日荘)
岐阜県益田郡小坂町落合唐谷2376-1 ※1

3. 湧出地における調査及び試験成績

(イ)調査及び試験者 岐阜県衛生研究所
(ロ)調査及び試験年月日 平成3年7月16日
(ハ)泉 温 3.1°C(気温15.1°C)
(ニ)湧 出 量 50ℓ/分(動力揚湯)
(ホ)知 覚 的 試 験 無色透明、しばらく放置すると褐色を帯びた濁り湯を生ずる。
(ヘ)pH 値 6.67
(ト)ラドン(Rn)含有量 -----

4. 試験室における試験成績

(イ)試 験 者 岐阜県衛生研究所 寺尾 宏 梶川 正勝
(ロ)分析終了の年月日 平成3年10月4日
(ハ)視 覚 的 試 験 褐色を帯びた濁りが認められる。無臭、取れん味 (採水 44時間後)
(ニ)密 度 1.00001 (20°C)
(ホ)pH 値 6.67
(ヘ)蒸 発 残 留 物 2.217g/kg (110°C)

5. 試料1kg中の成分:分量及び組成

| | 成 分 | ミリグラム(mg) | ミリバル(mval) | ミリバル%(mval%) |
|---------|--|-----------|------------|--------------|
| (イ)陽イオン | ナトリウムイオン (Na ⁺) | 459.6 | 19.99 | 53.36 |
| | カリウムイオン (K ⁺) | 102.2 | 2.61 | 6.97 |
| | マグネシウムイオン (Mg ²⁺) | 90.5 | 7.45 | 19.89 |
| | カルシウムイオン (Ca ²⁺) | 145.9 | 7.28 | 19.43 |
| | マンガンイオン (Mn ²⁺) | 0.9 | 0.03 | 0.08 |
| | 鉄(Ⅱ)イオン (Fe ²⁺) | 2.9 | 0.10 | 0.27 |
| | (イ)陽イオン計 | 802.0 | 37.48 | 100.00 |
| (ロ)陰イオン | ふっ素イオン (F ⁻) | 1.2 | 0.07 | 0.20 |
| | 塩素イオン (Cl ⁻) | 190.1 | 5.36 | 15.39 |
| | 硫酸イオン (SO ₄ ²⁻) | 557.0 | 11.60 | 33.30 |
| | 炭酸水素イオン (HCO ₃ ⁻) | 1091.2 | 17.80 | 51.11 |
| | | | | |
| | | | | |
| | (ロ)陰イオン計 | 1839.5 | 34.83 | 100.00 |

| | 成 分 | ミリグラム (mg) | ミリモル (mval) |
|--------------------|--|------------|-------------|
| (ハ)遊離成分 (非解離成分) | メ タ け い 酸 (H ₂ SiO ₃) | 249.3 | 3.19 |
| | メ タ ほ う 酸 (HBO ₂) | 15.8 | 0.36 |
| | (3)非 解 離 成 分 計 | 265.1 | 3.55 |

溶 存 物 質(ガス性のものを除く) (1)+(2)+(3) 2.907g/kg

| | | | |
|---------------------|----------------------------------|-------|------|
| (ハ)遊離成分 (溶存ガス成分) | 遊 離 二 酸 化 炭 素 (CO ₂) | 197.5 | 4.49 |
| | 遊 離 硫 化 水 素 (H ₂ S) | 0.1 | 0.00 |
| | (4)溶 存 ガ ス 成 分 計 | 197.6 | 4.49 |

成 分 総 量 (1)+(2)+(3)+(4) 3.104g/kg

| | 成 分 | ミリグラム (mg) | 成 分 | ミリグラム (mg) |
|-----------------|-------------------------------|------------|-----|------------|
| (二)その他の 微量成分 | アルミニウムイオン (Al ³⁺) | 0.1未満 | | |
| | 総 び 素 (As) | 0.08 | | |
| | | | | |
| | | | | |

6. 泉 質

ナトリウム-炭酸水素塩・硫酸塩泉(低張性中性高温泉)

平成3年10月11日

岐阜市野一色4丁目6番3号

岐阜県衛生研究所長

[備考]

現 地 の 状 況

泉源は、濁河温泉の旅館「朝日荘」のすぐ裏手に位置する。11kwの水中ポンプで揚湯し、貯湯槽を経て引湯されている。鉄を含むために浴槽は淡褐色の濁りを呈している。試料は泉源の直近で採取した。

温泉飲用利用成分分析書

依頼者

住 所 岐阜県益田郡小坂町落合2383番地^(※1)
氏 名 有限会社 濁河温泉 朝日荘 代表取締役 松坂 一磨
(※1)現在は市町村合併により下呂市となっています。

分析試料採取場所

岐阜県益田郡小坂町落合2376-1

利用泉源

源 泉 名 源泉朝日荘
分 析 年 月 日 平成3年7月16日
泉 質 名 ナトリウム-炭酸水素塩・硫酸塩温泉

試験結果

採水および分析者 岐阜県衛生研究所 寺尾 宏 森 仁
採 水 年 月 日 平成3年7月16日
泉 温 53.1°C(気温 15.1°C)
知 覚 的 試 験 無力透明、しばらく放置すると褐色を帯びた濁りを生じる。微かな硫黄臭。収れん味。
pH 値 6.72

試験1リットル中の成分含量

| 成 分 | ミリグラム (mg) |
|---------------|------------|
| ひ 素 | 0.08 |
| 銅 | 0.01未満 |
| ふ つ 素 | 1.2 |
| 鉛 | 0.01未満 |
| 水 銀 | 0.0005未満 |
| 遊 離 二 酸 化 炭 素 | 197.5 |

平成3年10月11日
岐阜市野一色4丁目6番3号
岐阜県衛生研究所長

備考

試料の採取、および成分分析は鉱泉分析と合わせて行った。

温泉分析書

(鉱泉分析試験による分析成績)

1. 申請者 住所 岐阜県下呂市森960番地
氏名 下呂市町 野村 誠
2. 源泉名及び湧出地 源泉名 市営源泉の混合泉(市営G泉、濁河温泉、市営源泉の混合泉)
探水地 岐阜県下呂市小坂町落合字唐谷2376番地1(市営源泉、混合層、採取口における分析)

3. 採水地における調査及び試験成績

- (イ)調査及び試験者 株式会社 神岡衛生社
(ロ)調査及び試験年月日 平成27年3月25日
(ハ)泉温 供給点での温度54°C(気温-2°C)
(ニ)湧出量 759ℓ/min(掘削による自然湧出)(所有者からの聞き取り調査による)
(ホ)知覚的試験 無色透明、微甘味、わずかに硫化水素臭
(ヘ)pH値 6.5(ガラス電極法)
(ト)ラドン(Rn) 測定せず

4. 試験室における試験成績

- (イ)試験者 株式会社 神岡衛生社 辻井 伸明
(ロ)分析終了年月日 平成27年4月28日
(ハ)知覚的試験 やや白濁、微金気味、わずかに硫化水素臭(試料採取後25時間)
(ニ)密度 1.0003(20°C/4°C)
(ホ)pH値 6.77(ガラス電極法)
(ヘ)蒸発残留物 1878mg/kg(乾燥温度180°C)
(ト)電気伝導部 243mS/m(25°C)

5. 試料1kg中の成分 分量及び組成

(イ)陽イオン

(ロ)陰イオン

| 成分 | ミリグラム(mg) | ミリバール(mval) | ミリバール%(mval%) | 成分 | ミリグラム(mg) | ミリバール(mval) | ミリバール%(mval%) |
|--|-----------|-------------|---------------|---|-----------|-------------|---------------|
| リチウムイオン(Li ⁺) | 0.6 | 0.09 | 0.30 | フッ化物イオン(F ⁻) | 0.3 | 0.02 | 0.06 |
| ナトリウムイオン(Na ⁺) | 294.1 | 12.79 | 44.13 | 塩化物イオン(Cl ⁻) | 136.6 | 3.85 | 13.05 |
| カリウムイオン(K ⁺) | 54.1 | 1.38 | 4.77 | 異化物イオン(Br ⁻) | 0.3 | 0.00 | 0.01 |
| アンモニウムイオン(NH ₄ ⁺) | — | — | — | ヨウ化物イオン(I ⁻) | — | — | — |
| マグネシウムイオン(Mg ²⁺) | 89.0 | 7.32 | 25.25 | 亜硝酸イオン(NO ₂ ⁻) | — | — | — |
| カルシウムイオン(Ca ²⁺) | 147.3 | 7.35 | 25.35 | 硝酸イオン(NO ₃ ⁻) | 0.1 | 0.00 | 0.01 |
| ストロンチウムイオン(Sr ²⁺) | 1.1 | 0.02 | 0.08 | 硫化水素イオン(HS ⁻) | — | — | — |
| バリウムイオン(Ba ²⁺) | — | — | — | チオ硫酸イオン(S ₂ O ₃ ²⁻) | — | — | — |
| アルミニウムイオン(Al ³⁺) | 0.05 | 0.01 | 0.02 | 硫酸水素イオン(HSO ₃ ⁻) | — | — | — |
| マンガンイオン(Mn ²⁺) | — | — | — | 硫酸イオン(SO ₄ ²⁻) | 638.8 | 13.30 | 45.05 |
| 鉄(II)イオン(Fe ²⁺) | 0.8 | 0.03 | 0.10 | リン酸二水素イオン(H ₂ PO ₄ ⁻) | — | — | — |
| 鉄(III)イオン(Fe ³⁺) | — | — | — | 炭酸水素イオン(HCO ₃ ⁻) | 753.5 | 12.35 | 41.83 |
| 銅イオン(Cu ²⁺) | — | — | — | 炭酸イオン(CO ₃ ²⁻) | — | — | — |
| 亜鉛イオン(Zn ²⁺) | — | — | — | | | | |
| 陽イオン 計 | 586.9 | 28.99 | 100.00 | 陰イオン 計 | 1529.6 | 29.52 | 100.00 |

(ハ)遊離成分

非解離成分

(ニ)溶存ガス成分

| 成分 | ミリグラム(mg) | ミリモル(mmol) | 成分 | ミリグラム(mg) | ミリモル(mmol) |
|---|-----------|------------|-------------------------------------|-----------|------------|
| メタケイ酸(H ₂ SiO ₃) | 242.2 | 3.10 | 遊離二酸化炭素(CO ₂) (遊離炭素) | 385.8 | 8.77 |
| メタホウ酸(HBO ₂) | 10.2 | 0.23 | | | |
| メタ亜ヒ酸(HAsO ₂) | 0.1 | 0.00 | 遊離硫化水素(H ₂ S) | — | — |
| 非解離成分 計 | 252.5 | 3.33 | 溶存ガス成分 計 | 385.8 | 8.77 |

溶存物質(ガス性のものを除く)2.369g/kg

成分総計 2.755g/kg

(ホ)その他微量成分

| | |
|-------|---------------|
| 総クロム | <0.005mg/kg> |
| 鉛 | <0.005mg/kg> |
| カドミウム | <0.005mg/kg> |
| 総水銀 | <0.0005mg/kg> |

6. 泉 質 : ナトリウム・カルシウム・マグネシウム-硫酸塩・炭酸水素泉
低張性-中性-高温泉

7. 禁忌症 : 適応症は別表による

平成27年4月28日
温泉成分 岐阜県第3号
岐阜県飛騨市神岡町東雲375番地
株式会社 神岡衛生社 技術部長 辻井伸明

温泉分析書別表(浴用)

- 源 泉 名 市営泉源の混合泉(市営G泉、濁河温泉、市営泉源の混合泉)
- 源 泉 所 在 地 岐阜県下呂市小坂町落合字唐谷2376番地1
採水地 岐阜県下呂市小坂町落合字唐谷2376番地1(市営泉源、混合層、採取口における分析)
- 温 泉 分 析 申 請 者 岐阜県下呂市森960番地
下呂市町 野村 誠
- 泉 質 ナトリウム・カルシウム・マグネシウム-硫酸塩・炭酸水素塩泉
低張性-中性-高温泉
- 分析結果による療養泉分類及び有成分に基づく禁忌症、適応症等は、平成26年7月1日環境省自然環境局長通知(環自総務第1407012号)によれば次とおりである。

【浴用の禁忌症】

一般的適応症： 病気の活動期(特に熱のあるとき)、活動性の結核、進行した悪性腫瘍又は高度の貧血など身体衰弱の著しい場合、少し動くと息苦しくなるような重い心臓又は肺の病気、むくみのあるような重い腎臓の病気、消化管出血、目に見える出血があるとき、慢性の病気の急性増悪期

泉質別禁忌症： 該当なし

【浴用の適応症】

一般的適応症： 筋肉もしくは関節の慢性的な痛み又はこわばり(関節リウマチ、変形性関節症、腰痛症、神経痛、五十肩、打撲、捻挫などの慢性期)、運動麻痺における筋肉のこわばり、胃腸機能の低下(胃がもたれる、腸にガスがたまるなど)、軽症高血圧、耐糖能異常(糖尿病)、軽い高コレステロール血症、軽い喘息又は肺気腫、痔の痛み、自律神経不安定症、ストレスによる諸症状(睡眠障害など)、疲労回復期、疲労回復、健康増進

泉質別適応症： きりぎず、抹消循環障害、冷え症、うつ状態、皮膚乾燥症

6. 浴用の方法及び注意

温泉の浴用は、以下の事項を守って行う必要がある。

ア. 入浴前の注意

(ア) 食事の直前、直後及び飲酒後の入浴は咲けること。酩酊状態での入浴は特に避けること。

(イ) 過度の疲労時には身体を休めること。

(ウ) 運動後30分程度の間は身体を休めること。

(エ) 高齢者、子供及び身体の不自由な人は、1人での入浴は避けることが望ましい。

(オ) 浴槽に入る前に、手足から掛け湯をして温度に慣らすとともに、身体を洗い流すこと。

(カ) 入浴時、特に起床直後の入浴時などは脱水症状等にならないよう、あらかじめコップ一杯程度の水分を補給しておくこと。

イ. 入浴方法

(ア) 入浴温度 高齢者、高血圧症若しくは心臓病の人又は脳卒中を経験した人は、42℃以上の入浴は避けること。

(イ) 入浴形態 心肺機能の低下している人は、全身浴よりも半身浴又は部分浴が望ましい。

(ウ) 入浴回数 入浴開始後数日間は、1日当たり1～2回とし、慣れてきたら2～3回まで増やしてもよい。

(エ) 入浴時間 入浴温度により異なるが、1回当たり、初めは3～10分程度とし、慣れてきたら15～20分程度まで延長してもよい。

ウ. 入浴中の注意

(ア) 運動浴を除き、一般に手足を軽く動かす程度にして静かに入浴すること。

(イ) 浴槽から出る時は、立ちくらみを起さないようにゆっくり出ること。

(ウ) めまいが生じ、又は気分が不良となった時は、近くの人に助けを求めつつ、浴槽から頭を低い位置に保ってゆっくり出て、横になって回復を待つこと。

エ. 入浴後の注意

(ア) 身体に付着した温泉成分を塩水で洗い流さず、タオルで水分を拭き取り、着衣の上、保温及び30分程度の安静を心がけること。(ただし、肌の弱い人は、刺激の強い泉質(例えば酸性泉や硫黄泉等)や必要に応じて塩素消毒等が行われている場合には、温泉成分等を温水で洗い流した方がよい。)

(イ) 脱水症状等を避けるため、コップ一杯程度の水分を補給すること。

オ. 湯あたり

温泉療養開始後おおむね3日～1週間前後に、気分不快、不眠若しくは消化器症等の湯あたり症状又は皮膚炎などが現れることがある。

このような状態が現れている間は、入浴を中止するか、又は回数を減らし、このような状態からの回復を待つこと。

カ. その他

浴槽水の清潔を保つため、浴槽にタオルは入れないこと。

(注)この別表は、温泉法第18条による掲示に必要な参考資料となるものである。

平成27年 4月 28日

平成27年4月28日
温泉成分 岐阜県第3号
岐阜県飛騨市神岡町東雲375番地
株式会社 神岡衛生社 技術部長 辻井伸明